

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	高次脳機能障害Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 火曜2限・木曜3限	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	丸山 めぐみ	実務経験とその関連資格	友愛会病院で言語聴覚士として勤務し、成人(脳疾患等)の言語聴覚療法に携わる			
《授業科目における学習内容》						
高次脳機能障害を理解し適切な評価・診断に結び付けることができる。各障害に応じた検査を実施することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書 :①標準言語聴覚学 高次脳機能障害学(白テキスト) 参考図書:②言語聴覚士のための臨床実習テキスト						
《授業外における学習方法》						
予習・復習ともに①の該当箇所をよく読む。特に章末のKey Pointのまとめを通して復習する。②には各領域のケーススタディ(症例報告書)が記載されているので、随時参照する。放課後の検査貸し出し時間を計画的に利用し、検査練習をすすめる。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習を想定し、主体的に考えながら授業に参加してください。検査演習も合わせて行いますので、予習・復習にて技術の習得もすすめていきましょう。随時問題演習を行います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	WAIS-Ⅲを実施できる。	検査マニュアル、記録用紙	検査の目的、内容、実施手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	WAISの採点			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	正常な加齢と認知症の違いを説明することができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	認知症の定義、症状の特徴について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の特性および日常生活上での観察ポイントを述べることができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	配布される行動観察尺度も合わせてよく確認する。	
		各コマにおける授業予定	認知症症状の行動観察尺度(CDR)について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の原因疾患のそれぞれの特徴を説明することができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	認知症の原因疾患とその特徴について1			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	認知症の原因疾患のそれぞれの特徴を説明することができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	認知症の原因疾患とその特徴について2			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症のコミュニケーション障害の特徴を挙げるができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	認知症で呈するコミュニケーションの問題について		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	認知症の症状から適切な評価方法を選択し、行うことができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	検査の目的、内容、実施手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	認知症スクリーニング検査の実施		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容を理解し、アウトプットできる。	配布資料 パソコン プロジェクター	問題演習の振り返り
		各コマにおける授業予定	これまでの振り返り		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の症状に基づいたリハビリテーションを説明することができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	認知症のケア・リハビリテーションの方法について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な失算症状を挙げるができる。 失算に至る高次脳機能障害を関連づけることができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	失算の定義、評価、リハビリテーション		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳梁離断症状の発現メカニズムを理解することができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	脳梁離断症状の定義、症状とその発現メカニズム、評価		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性硬膜下血腫、急性硬膜下血腫、びまん性軸索損傷などの病態の特徴を説明することができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	頭部外傷で生じる病態メカニズムについて		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部外傷後に生じる高次脳機能障害について説明することができる	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	頭部外傷後の高次脳機能障害の特徴について		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	右半球損傷後のコミュニケーション障害の特徴を述べるができる。	配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	右半球損傷後に生じるコミュニケーション障害について		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまで学習した高次脳機能障害の発症メカニズム、症状の特徴を説明することができる。	配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	これまでの振り返り、問題演習		